



Hyogo Consumer's Co-operative Union

ひょうごの生協 2011

兵庫県生活協同組合連合会

ごあいさつ

東日本大震災、 他を思いやる心の組織化、 助け合いの社会づくり



兵庫県生活協同組合
連合会会長理事

本田 英一

兵庫県生協連を構成する36の会員生協は、今年度も、供給事業、医療事業、共済事業などさまざまな分野で力一杯頑張っています。

3月11日14時46分、宮城県牡鹿半島沖を震源とした東北地方太平洋沖地震が発生しました。日本の観測史上最大のマグニチュード9.0を記録し、震源域は岩手県沖から茨城県沖まで南北約500km、東西約200kmの広範囲におよび、しかも、この地震により、場所によって波高10m以上、最大遡上高40.5mにも上る大津波が発生、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらしました。この東日本大震災での被害者は、8月27日現在、死者15,735人、負傷者5,924人、行方不明者4,467人と報告されています。

地元の生協は、自らも甚大な被害をうけながら、地震発生当日から対策本部を立ち上げ、自治体から寄せられる被災住民のための食料確保の要請に対して、店舗や倉庫にある在庫を使って応えました。日本生協連と全国の生協も、直ちに被災地支援の体制を整え、地元生協を通じて寄せられる被災地にとって必要な物資を調達し、配送しました。同じように、被災地の生協や社会福祉協議会と、全国各地の生協や社会福祉協議会が連携することで、被災者の生活支援の活動も幅広く展開されました。今回のような大規模災害発生時の被災地支援では、「被災者の役に立ちたい」という他を思いやる心と共に、その思いを具体的な支援活動に効果的につなぐ組織的な動きが大変重要です。今回の被災地支援でも、そういう点で生協の対応力の高さが証明されたのではないかと考えています。兵庫県生協連の多くの会員生協も、全国の仲間と共に、さまざま被災支援に取り組みました。

震災から半年が過ぎましたが、未だ被災地のみなさんに平穏な日々は帰ってきていません。さらに、同時に発生した原発事故による放射能汚染の問題は、被災地だけではなく私たち自身の暮らしにも大きな影を落とし始めています。兵庫県生協連の会員は、被災地への引き続きの支援と、自らの地域の組合員の暮らしを守るため、全力で取り組んでまいります。行政はじめ、関係者のみなさまの引き続きのご指導、ご鞭撻をお願いします。

CONTENTS

2 ごあいさつ

兵庫県生活協同組合連合会会長理事
兵庫県知事

本田 英一
井戸 敏三

4 兵庫県生活協同組合連合会の活動

コミュニティー・ネットワークの構築
～協同が息づく兵庫のまちづくりをめざして～

6 食生活活動の取り組み

- 8 安心して「子育て」できる社会の実現をめざして
- 9 保健・医療・福祉のネットワークづくりにむけて
- 10 持続可能な社会の実現をめざして
- 11 広げよう！平和の想い

元気で安全安心な 兵庫をめざして



兵庫県知事

井戸敏三

未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から半年が過ぎました。

この間、兵庫県として、関西広域連合として、阪神・淡路大震災の経験を生かしながら、現地支援本部による支援ニーズの把握とそれへの対応をはじめ、職員の中長期派遣などを行い、タイムリーな被災地支援に努めてきました。

兵庫県生活協同組合連合会の皆様も、発災直後から、緊急物資の提供や医療機関・被災生協への職員派遣、ボランティア活動、義援金募集等の支援に積極的に取り組んでいただいています。

生協の父・賀川豊彦は、関東大震災の翌日、救援物資を積んで神戸港を発ち、長期にわたり被災地で献身的な救援活動を続けました。また、16年前の阪神・淡路大震災の際には「被災地に生協あり」と言われました。脈々と受け継がれてきた助け合い、支え合いの「協同」の精神は、今回の震災でも大きな力となっています。

被災地では、今ようやく緊急・応急対策のステージから、復旧・復興のステージへと進みつつあります。復興への道のりは、まだまだ長く、多くの困難を伴うでしょう。

同じ大震災を経験し、被災の苦しみを知る私たちです。これからもしっかりと被災者の心に寄り添い、息の長い支援を続けていきましょう。

2012年は国連の「国際協同組合年」。世界が抱える重要課題の解決をめざし、協同組合の発展に向けた様々な取組みが展開されます。皆様には、これをステップに「協同」の輪をさらに広げ、一層充実した活動を展開されることを期待しています。ともに力を合わせ、「元気で安全安心な兵庫」の実現をめざしていきましょう。

兵庫県生活協同組合連合会、各会員組合のますますのご発展と、関係の皆様のご健勝でのご活躍を心からお祈りします。

12 「協同の力」で支えあう災害支援

13 ぐらしの安心

組合員相互の助け合い広がる共済の輪

14 目で見る会員生協概況

16 会員生協紹介（36会員）

22 会員生協一覧

24 協同組合原則



兵庫県生活協同組合連合会の活動

コミュニティー・ネットワークの構築

～協同が息づく兵庫のまちづくりをめざして～

会員の組織・経営基盤の強化に貢献します

- 会員生協の健全な生協運営に資するため情報の提供や共有化をおこない、研修会・講習会を強化しました。兵庫県と協同で作成した『消費生活協同組合運営の手引き』を活用するとともに、兵庫県と共催で「監事研修会」、「コンプライアンス（自主統制力向上）研修」を開催し、原則運営に沿った健全な生協運営をすすめています。また、会員生協対象に兵協連が主催する「経理学校」、「税務経理講習会」では、経理担当者の責務の重要さを認識していただくとともに実務能力の向上を図っています。
- 大学・医療・共済の各部会を開催し、経営状況の分析や情報交換、研修会開催などを企画しています。安定した業績を残せる経営を目指しています。また、異なる分野の会員生協役員がメンバーとなり、相互の学習や情報交換、交流をしながら課題を定めてすすめていく「保健・医療・福祉研究会」を開催しています。さらに、「金融・経済・社会状況学習会」（11月）、「新春トップセミナー」（1月）を開催し、生協運営の今日的課題とあり方について研鑽を深めています。



兵庫県と共催で「監事研修会」を開催（2010年12月）



新春トップセミナー（2011年1月）

会員生協間の事業・活動の連携と交流を促進します

- 生協活動委員会が中心となり、兵庫県生協連の取り組み課題の企画・運営を会員生協の参画ですすめています。部会ごとの相互交流（研修・講師派遣・イベントなど）を通じて、商品、福祉、利用事業などの分野で少しずつ異業種生協間の連携がすすんでいます。
- 2010年度「兵庫県生協大会」は、「兵協連創立60周年記念大会」として開催し、地域・職域・大学・医療・共済生協、JA・JF・森林組合それぞれの活動紹介や記念公演をおこないました。
- 機関誌『兵協連だより』や広報誌『ひょうごの生協』、兵庫県生協連ホームページを通じて、兵庫県下の生協紹介、事業のPRを行い、生協の活動と理念普及に努めています。
- 毎年、秋には会員生協の役員職員体育大会を開催し、軟式野球大会・ボウリング大会を通じて役員職員間の交流を深めています。



兵協連創立60周年記念 2010年度兵庫県生協大会（2010年10月）



軟式野球大会で会員生協役員職員の交流を図る（2010年11月）

協同組合間協同（生協・JA・JF・森林組合）の前進をはかります

- 兵庫JCC（協同組合連絡協議会）事務局として協同組合間の交流を図っています。「第89回国際協同組合デー・兵庫県記念大会」を、より多くの組合員に農協（JA）・漁協（JF）・森林組合・生協が連携して、協同組合の発展に向けて取り組んでいることをアピールするために開催しました。
- 兵庫JCC主催「協同組合研究・交流会」を「豊かな暮らしを支えるもの～生産・流通・消費の相互理解～」をテーマに開催し、生産者・組合員・役職員が研究会で共に学習した後、兵庫県産の食材で作った地産地消の弁当で昼食をとりながら交流をしました。
- 同じ協同組合の仲間としてJA兵庫中央会機関誌『協同』、JF兵庫漁連機関誌『拓水』と兵庫県生協連機関誌『兵協連だより』との記事相互掲載を継続しています。



第89回国際協同組合デー・兵庫県記念大会（2011年7月）

行政ならびに関係諸団体との連携・交流を深めます

- 兵庫県、神戸市など、行政との日常的な連携強化に努めています。行政の方々を迎えての新春賀詞交換会の開催や兵庫県健康福祉部と兵協連理事会の県政懇談会の開催など兵庫県との交流を深めるとともに、県施策や生協からの意見・要望など情報交流の促進を図っています。
- 兵庫県をはじめ、神戸市、近畿厚生局、近畿農政局との日常的連携の強化、および審議会や委員会などをとおして幅広く交流を深めています。
- 地域住民の安全・安心な暮らしを支えるために、生協と行政のパートナーシップを深めることを目的に、「近畿地区生協・行政合同会議（福井・滋賀・奈良・和歌山・大阪・京都・兵庫の7府県の生協と行政）」を毎年開催し、相互理解を深めています。



第23回近畿地区生協・行政合同会議（2011年8月）

くらし・平和・福祉・環境など社会的諸課題に取り組めます

- 食の安全・安心、食育、消費者問題、環境など、くらしと健康を守る諸課題に取り組んでいます。消費者支援機構関西（KC's）、ひょうご消費者ネット、コープこうべ、兵庫県生協連の4者共催で3回目となる「ひょうご消費者セミナー」を開催しました。



ひょうご消費者セミナー2011（2011年3月）

兵協連60周年記念事業を推進します

- 「兵協連60周年記念2010年度生協大会」（10月）「兵協連60周年記念式典」（11月）の開催と「兵協連60周年記念誌」の作成を会員生協の支援と参画によりおこないました。



兵協連60周年記念式典（2010年11月）

食生活活動の取り組み

生協では、子どもたちが健やかに育っていくことを願って、「食育」に関わるさまざまな取り組みと「食品の安全」に対する取り組みをすすめています。

子供達への食生活活動の取り組み

- 子どものころから食への関心を強め、よい食生活習慣を身につけることで健康な体づくりをすすめるとともに、食を通して、自然環境、生産者への思いを広げ、豊かな心をはぐくむことを目指した、食育の活動をすすめています。
- コープこうべの「コープ食育くらぶ」では、地域の子どもたちやその家族を対象に、学習料理会や体験学習などのプログラムを組合員自ら企画・実施しています。
- コープ自然派兵庫では、生協の理念「田んぼから食卓へ命をつなげよう」をテーマに、組合員が中心となった食育・アレルギーチーム「根っこ会」がさまざまな活動をしています。主食として日本人の命を支えてきたご飯。田んぼは、お米だけでなく、さまざまな生き物も育てています。しっかりご飯を食べることは、健康な身体を作り、田んぼを守ります。田んぼが守られることは、豊かな環境を次世代につなぐこと。自然の恵みが食卓にあり、そこに笑顔が続く～生協から発信できる食育と考え活動しています。
- 生活クラブ都市生活では、生産者とのつながりを活かした食育の取り組みとして、田んぼの体験や、収穫体験をすすめています。JA兵庫六甲と「田んぼの一年を知ろう！」をテーマにした組合員家族を対象とした体験交流を開催しています。日本の気候風土に適した米を中心とした食生活の大切さと、米を作る水田が育む豊かな自然は、都市の人々にとっても大切な財産であることを伝える取り組みです。また、各支部でも組合員が中心となり親子や子ども対象の料理会などの活動が行われています。



「コープ食育くらぶ」(コープこうべ)



食育・アレルギーチーム「根っこ会」(コープ自然派兵庫)



JA兵庫六甲との取り組み(生活クラブ都市生活)

組合員の商品に対する安全・安心の願いに応えます

- コープこうべの検査活動は1967年にスタート。当時、農薬や食品添加物の安全性が問題になっており、「安心して食べたい」「安全な食品がほしい」という組合員の切実な声にこたえて、全国の生協で初の検査室が設置されました。以来、消費者の視点に立った、地道な検査活動を続けています。残留農薬、食品添加物、動物用医薬品、栄養成分、細菌などの検査や官能検査、繊維製品、家庭用品検査など衣食住全分野にわたり、品質のチェックを日々行っています。

2011年9月1日からは放射性物質の自主検査もスタートしました。



7月末に導入した放射性物質測定装置「ゲルマニウム半導体検出器」（コープこうべ）

大学生への食生活活動

- 大学生協では、「生きることは食べること！食べることは生きること！」をテーマに、学生の「食の自立をサポート」するために食生活相談、食生活の知識や自炊メニューなどを掲載した小冊子「食生活ランド」の発行、新入生を対象とした料理講習会などさまざまな活動を行っています。

また、食生活相談では、健康推進活動の一環として医療生協と連携して「骨密度測定と食生活相談」を実施しています。

- 学生がメニューを考える「メニューコンテスト」を阪神の大学生協食堂で実施し、食堂メニューとして提供します。まず、大学毎でメニューを募集し、コンテストを行い、各大学で1位のメニューを集めて、さらに試作・試食・学生による審査を行い、最終大阪地区5品・神戸地区5品を選びました。その10品を食堂で提供し、期間中に1番多く利用されたメニューをグランプリとします。メニューを考えることで、食べることへの関心をもつきっかけになったり、食材への興味をもってもらえる取り組みとなっています。



- 食堂メニューの組み合わせ提案も毎月行っています。生協食堂メニューを利用するとき、どのような組み合わせをして食べていただくかを週単位で提案しています。

それ以外の取り組みとして、毎月旬の野菜と旬の野菜を使用した惣菜やサラダのメニュー提案、毎月食生活情報として「管理栄養士からのおたより」などを発行しています。

- 学生の食生活全般の改善へ役立つ取り組みを行い、食事作りのポイントや技術の習得、情報の提供などを通じて、食べることに興味を持ってもらい、食べることを楽しさや大切さを伝えていきます。

◎組合員参加企画 メニューコンテスト
◇結果(2011.7.7於神戸大)

1位 りぼんちゃん 特製丼 102点 和歌山県立医科大学	
2位 鶏飯あんかけチャーハン 57点 大阪教育大学	
3位 まぎろい丼 54点 大阪電気大学	
4位 おぼろー油揚げ丼 46点 和歌山大学	
5位 生すき丼 39点 大阪府立大学	
6位 どり芋もちしりしり 大阪経済大学	
7位 じゃこ入り五子丼 阪南大学	
8位 ゆず香る和風麻婆丼 大阪市立大学	

「メニューコンテスト」(大学生協)



「料理講習会」(大学生協)



「食生活相談」(大学生協)

安心して「子育て」できる社会の実現をめざして

生協では、地域で安心して子育てができる環境をめざして地域購買生協や医療生協などで子育て支援活動をすすめています。

各地域にひろがる「子育てひろば」の輪

- コープこうべの「子育てひろば」は、「子育て中のお友達がほしい」、「子育ての悩みを語り合いたい」など、子育て中の親子が気軽に訪れ交流できる場所として組合員により自主的に運営・開催されています。また、地域の子もたちとその保護者を対象に、親子体操や創作遊び、簡単クッキング、子育てフリートークなど、親子で一緒に楽しく参加できる「コープ育ち合い教室」の開催や、子育て分野のコープサークルも活発に活動しています。さらに、行政や地域と協働して「コープの地域ほいく室」を4ヶ所開設。お父さん・お母さんの通院や学習、子育てのリフレッシュ、あるいは、就園前のお子様の集団生活体験など、幅広い保育ニーズに対応しています。
- 生活クラブ都市生活では、養成講座を終了した組合員サポーターが運営する子育てひろば「きらきら」を8支部で開催しています。子どもたちへの絵本の読み聞かせや、参加者同士のおしゃべりは、子育てへの不安解消や気分転換につながっています。また、企画開催時は組合員による託児スタッフが活躍しています。



「コープ子育てひろば」(コープこうべ)



子育てひろば「きらきら」(生活クラブ都市生活)

「子育て応援ひろば」を開講しました。

- 尼崎医療生協では、組合員参加をひろげる新たな仕組みづくりとして、サークル、グループ、カルチャー活動の取り組みをすすめています。昨年8月から、初のカルチャー教室「子育て応援ひろば」がスタートしました。子育てをテーマとした学びの場としてのこの教室から、新たに、組合員による自主運営の子育てサークルが、誕生するなど取り組みが広がっています。



「子育て応援ひろば・赤ちゃんマッサージ」(尼崎医療生協)

働くおかあさんをサポートする病児保育「キッズ・ケア・ハウス」

- 阪神医療生協では、国の定めた乳幼児健康支援サービス事業(病児保育)「キッズ・ケア・ハウス」を1999年4月から小中島診療所で運営し、「子どもが病気で保育所にあずけられない、でも仕事は休めない。」そんなお母さん、お父さんたちを支援しています。子どもの急な病気にも医師や看護師さんの心強いサポートがあり安心してあずけられます。



「キッズ・ケア・ハウス」(阪神医療生協)

保健・医療・福祉のネットワークづくりにむけて

地域とともに、病院・診療所を中心に組合員や住民本位の質の良い医療サービスを提供しながら、保健活動や介護保険事業など福祉サービス活動に取り組んでいます。

広がる健康づくりの取り組み

- 県内にある医療生協では、検診による病気の早期発見・早期治療に努めながら、生活習慣病の予防やいつまでも元気で暮らしてゆける健康づくりの取り組みをすすめています。
- 地域組合員とともに「まちかど健康チェック」はもちろんのこと、「大腸がん（検診）キャンペーン」や「乳がん検診キャンペーン」などの検診活動の充実や自分の体力や生活のリズム、目標に合わせてコースや期間を選び、個人や家族、グループで取り組む健康づくりの輪が広がっています。さらに、コープこうべの店舗での「健康チェック」をはじめ、大学生協では生協祭にあわせて骨密度検査を中心とした健康チェックを、生活クラブ都市生活では、組合員まつりでの健康チェックなどを実施し、異業種生協間の連帯の輪も広がっています。



「まちかど健康チェック」の活動
(神戸医療生協)

くらしの助け合い活動

- 生協では、高齢者や子育て中の方などを対象に家事や子育て支援を行う「くらしの助け合い」活動を1983年から実施しています。同じ組合員という立場で困っている人の手助けをする「くらしの助け合い」活動は支援を必要としている人の生活をサポートすることで、誰もが安心して暮らせる地域づくりをめざしています。高齢者や障害のある方へのお話し相手、炊事や掃除、買い物などの家事援助、産前産後の手助け、病院への付き添いなどの支援活動は、組合員同士のあたたかな助け合いの心を地域に広げています。



西宮くらしの助け合いの会「ご近所さん」発足式(尼崎医療生協)

兵庫県内では、コープこうべをはじめ、神戸医療生協、宝塚医療生協、姫路医療生協などで広がっています。また、新たに尼崎医療生協では、西宮くらしの助け合いの会「ご近所さん」が発足しました。

地域の組合員とともに福祉・介護の施設づくりがすすんでいます

- 医療生協では、地域組合員とともに建設運動をすすめて、新たな福祉・介護の施設づくりがすすんでいます。
- 姫路医療生協では、小規模多機能ホームとして4ヶ所目となる「小規模多機能ホーム城北」が2011年3月にオープン、続いて、7月に「居宅介護支援事業所しかま」がオープンしました。
- ろっこう医療生協では、小規模多機能型居宅介護「小規模多機能事業所とがわ」が2011年1月にオープンしました。



左上：小規模多機能ホーム城北
(姫路医療生協)
右上：居宅介護支援事業所しかま
(姫路医療生協)
左下：小規模多機能事業所とがわ
(ろっこう医療生協)

持続可能な社会の実現をめざして

生協では、持続可能な社会の実現をめざして事業活動や組合員活動を通じて、環境にやさしい商品の提供やマイバッグ運動、リサイクル活動、環境測定活動の取り組みなどさまざまな環境保全の取り組みをおこなっています。

レジ袋削減の取り組みとリサイクルの取り組み

- コープこうべが、1970年代、オイルショックを背景に、くらしの無駄を見直そうと、組合員の提案ではじめた「買い物袋再利用運動」。1995年からはレジ袋の無料配布を中止し、「お買い物にはマイバッグ」を合い言葉にマイバッグ運動をすすめ、組合員のご理解とご協力により、2008年度から9割の方にマイバッグをお持ちいただいています。また、コープこうべでは、紙パック、飲料缶、食品トレイ、ペットボトル、卵パック、商品情報誌「めーむ」、商品配達用ポリ袋・帳票袋などの回収・リサイクルにも取り組んでいます。
- 生活クラブ都市生活では、繰り返し使うRビン（リターナブルびん）入りのものや、びんに入った牛乳の利用推進活動などもすすめてきました。
- 大学生協では、2004年3月よりリサイクル紙容器を使用した弁当の提供や使用後に汚れたビニルフィルムを剥がして回収し、再び弁当箱やトレーなどに再生・再資源化されるプラスチック製弁当箱も使用しています。



マイバッグ率は9割に（コープこうべ）



リサイクル可能な弁当箱（大学生協）

身近な自然を守るための活動

- 生活クラブ都市生活では、石けんの利用促進や化学物質を使わない暮らしをすすめる活動を継続して行っています、また身近な自然を知り、守るための活動として自然観察会、生き物観察会、などさまざまな環境活動に取り組んでいます。
- コープ自然派兵庫では、2005年より供給を始めた「コウノトリを育むお米」の生産地である豊岡市で、2006年から「たんぼの生きもの調査」を行っています。農薬や栽培方法が虫や魚にどう影響するのかを知るため、たんぼの土や生きものを調べ、生産者・消費者が自らたんぼの生きもの調査を実施することにより、安全な農法と、生きものや周辺環境とのかかわりを体感できる活動として取り組みをすすめています。



交流のたんぼの生き物調査（生活クラブ都市生活）



たんぼの生きもの調査（コープ自然派兵庫）



広げよう！平和の想い

生協では、子どもたちが安心して暮らせる平和な社会の実現を願ってさまざまな平和の取り組みをすすめています。



ピースアクション2011inヒロシマ・ナガサキに参加

- 毎年、日本生協連合会と広島・長崎生協連合会が主催する「ピースアクションinヒロシマ・ナガサキ」に県内生協も参加しています。今年は県内生協から広島に22名、長崎に11名が参加し、核兵器の恐ろしさ、平和の大切さ、そして継承し続けていくことの必要性を学びました。

ピースアクションinヒロシマに参加
(コープこうべ)



ピースアクション2011「被爆ピアノ平和コンサート」を開催

- 兵庫県内のピースアクションの取り組みとして、8月に「被爆ピアノ平和コンサート」を神戸市立東灘区民センターうはらホールにて開催しました。この被爆ピアノは、広島で原爆投下時、爆心地から1.8kmの民家で被爆しました。ピアノの表面には、現在も爆風によるガラス片が突き刺さった無数の跡が残っています。現在は修復され、平和の大切さを伝えるために全国各地でコンサートを開いています。当日は、被爆から66年を超える歳月を乗り越えたピアノの美しい音色を参加した454名が聴き入り、平和への想いを新たにしました。



ピースアクション2011「被爆ピアノ平和コンサート」
(2011年8月)

県内各所での「平和」への取り組み

- 県内の地域生協・大学生協・医療生協では、「平和のつどい」や「平和行進」、「映画会」、「講演会」など多彩な活動を展開して平和の大切さを広げています。



平和のつどい「アグネス・チャンさん講演会」
(コープこうべ)



平和のつどい「カンベンガ・マリールイスさん講演会」
(コープこうべ)



平和行進（阪神医療生協）



原水爆禁止世界大会に参加（神戸医療生協）

「協同」の力で支えあう災害支援

全国の生協では、阪神・淡路大震災以降、自治体との災害時の緊急支援物資供給協定の締結や生協間での支援協定、大規模災害に対する訓練など備えを積み重ねてきました。今回の東日本大震災では、こうしたことから、いち早く物資支援や支援体制の構築を行うことができました。

協同の力で

- 2011年3月11日に発生した東日本大震災・津波は、東北地方を中心に甚大な被害をもたらしました。被災地の生協では、人や施設に大きな被害をうけつつも、地震発生当日に対策本部を設置し、安否確認、店頭などでの物資供給、自治体からの緊急物資支援要請に応え避難所への支援物資供給などに取り組みました。全国の生協も被災者支援を第一に、支援物資や支援人員、車両等を送り支援を開始、兵庫県内の生協も地震発生当日から、さまざまな支援活動を行っています。



被災地を走る支援トラック（コープこうべ）



花笠地区にあるお宅の泥かき支援（尼崎医療生協）



中学生と一緒に炊き出し活動（大学生協）



宮城県仮設での健康チェック（神戸医療生協）

災害への支援強化

- 兵庫県生協連は、2008年1月に兵庫県と「緊急時における応急生活物資供給等に関する協定書」を締結しました。これは、当時、阪神淡路大震災から13年となるのを前に、協定書を締結することにより、県下一円において、緊急時に応急生活物資の調達および安定供給、医療・保険活動、生活情報の収集・提供等の救援活動を行い、被災者等の生活の安定に寄与することを目的としています。続いて、2008年10月に関西地連管内2府10県の府県生協連と関西地連が「災害時応急生活物資等に関する相互支援協定」を締結しました。さらに、2009年6月には「緊急時における応急生活物資供給等に関する協定」の「実施細目」を策定し、兵庫県との間で締結しました。また、緊急時の連絡網の整備・緊急時における緊急通行車両の申請・MCA無線の配備等をすすめています。



兵協連主催「大規模災害対策図上演習～ぼうさい塾・わかまち減災シュミレーション～」(2011年2月)



「兵協連2011年 第1回災害対策委員会」(2011年8月)

くらしの安心 組合員相互の助け合い広がる共済の輪

いざという時のくらしの安心を支える共済

●兵庫県内には神戸市民生協、尼崎市民共済生協、西宮市民共済生協、姫路市民共済生協の4つの市民共済生協と兵庫労働共済生協（全労済）があり、火災・医療・生命・交通傷害・年金・慶弔共済など事故・災害から暮らしと生命を守る多種多様な共済事業をおこなっています。市民共済生協は、地域に密着した共済生協として親しまれ、迅速な対応で組合員に支持されています。また、兵庫労働共済生協は、「全労済」として親しまれ、多彩なプランをそろえた「こくみん共済」など確実できめ細かい保障内容と幅広い保障範囲で大きな安心をお届けしています。また、大学生協では、学生生活の24時間をバックアップする学生総合共済があり、万一の災害時にそなえ、組合員のくらしの安心を支える共済の輪が広がっています。



各生協のパンフレット

充実する「CO・OP共済」

●組合員どうしがくらしを助け合う目的で生まれたCO・OP共済。はじめは、コーヒー一杯分の掛金で「死亡10万円、入院見舞金2万円」の小さな保証でした。「もっとくらしに必要な保障を」という組合員の切なる願い…。その願いに応じて、CO・OP共済は加入者の輪を広げて、充実した保障を実現してきました。

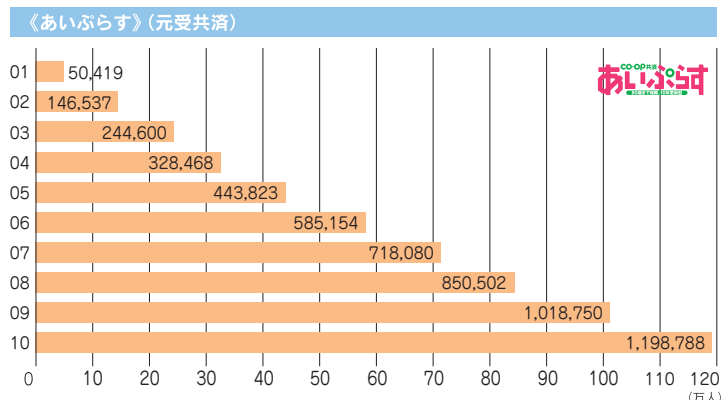
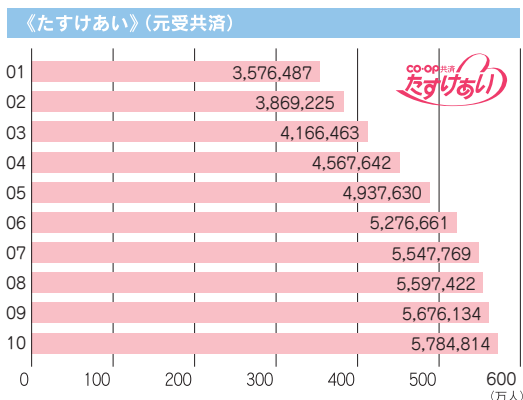
1984年にスタートした、「CO・OP共済《たすけあい》」は、入院やケガによる通院など「生きていくなかで必要な保障」を手軽な掛け金で充実させた共済です。そして、「CO・OP共済《あいづらす》」は、死亡・重度障害など万一の備えを充実させた共済です。

さらに、2011年には、終身タイプの医療保障および、生命保障が新たに開発されました。



終身タイプの医療保障、生命保障が新たに開発されました

■加入者の推移



注)『CO・OP共済事業のご報告2011』より抜粋

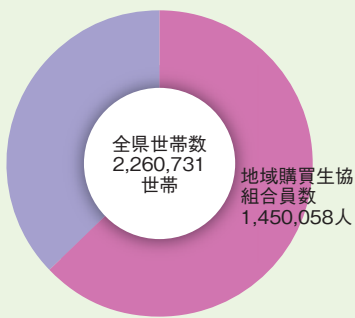
目で見る会員生協概況

(会員生協2010年度 決算数値より)

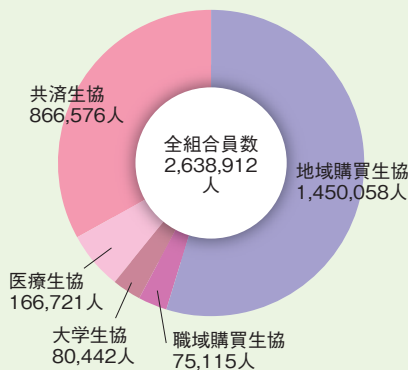
組合員数 263万人の組合員の輪

● 県内全世帯に占める 地域購買生協組合員数

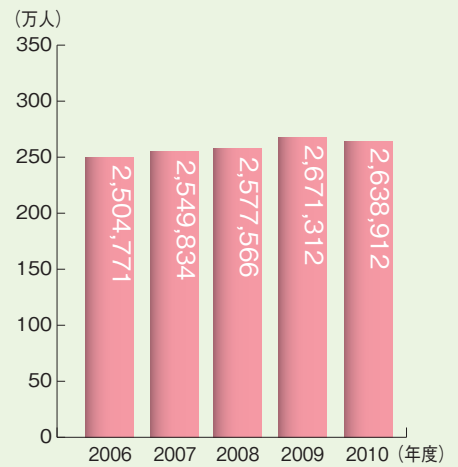
(全県世帯数は平成23年4月1日
現在の兵庫県推計人口による)



● 県内生協分野別に見た 組合員の構成(人)

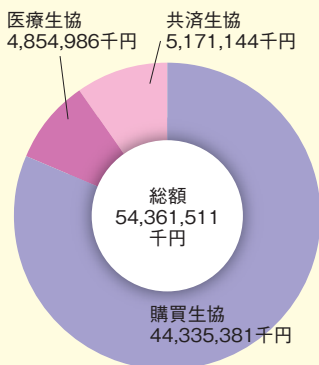


● 兵庫県下の生協 組合員数の経年変化(人)

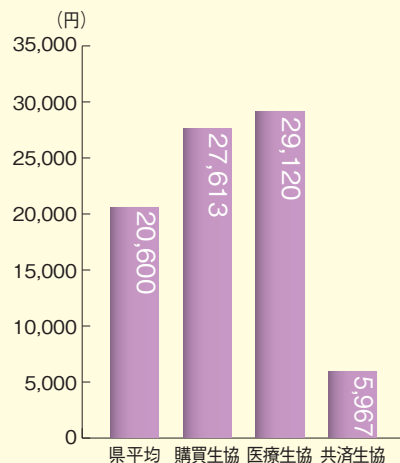


出資金 543億円の信頼

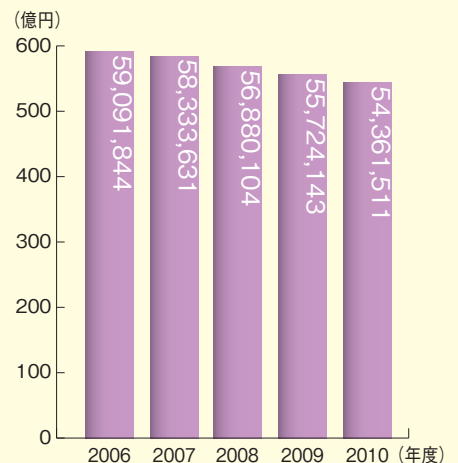
● 県内生協の分野別 による出資金(千円)



● 県内生協の分野別に見た 組合員一人あたりの 出資金額(円)



● 県内生協の出資金額の 経年変化(千円)



※購買生協＝地域・職域・大学生協

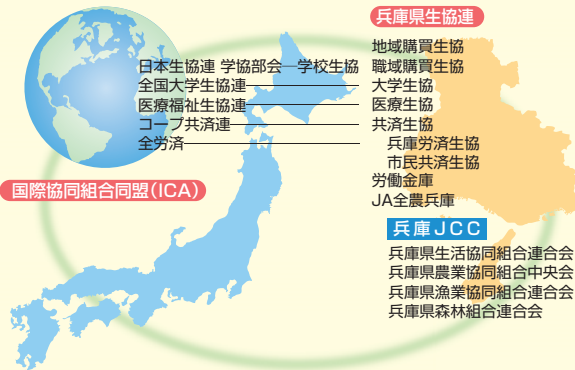
兵庫県生活協同組合連合会の組織

兵庫県生活協同組合連合会は、県下の生協を中心に協同組織体を会員とする連合会です。
 「協同互助の精神に基づき、会員の事業の発展を図り、会員の構成員たる組合員の生活の文化的経済的改善向上を図ることを目的とする」(定款第一条)

名称：兵庫県生活協同組合連合会
 創立総会：1950年8月9日
 認可：1950年10月18日
 所在地：兵庫県神戸市中央区下山手通4丁目16-3
 県民会館4階
 代表：会長理事 本田英一
 会員数：36会員
 出資金：887万円(2011年9月末現在)

●2011年度 役員一覧

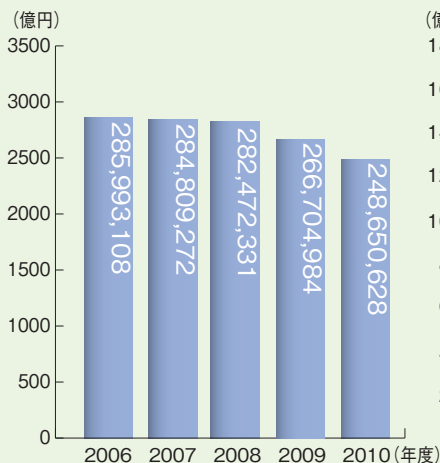
役職	氏名	会員生協名・役職名
会長理事	本田 英一	コープこうべ 組合長理事
副会長理事	寺尾 善喜	大学生協阪神事業連合 専務理事
専務理事	大西 憲慈	コープこうべ特別参与
理事	板崎 聡	神戸医療生協専務理事
	高橋 秀行	関西学院大学生協専務理事
	福島 哲	尼崎医療生協専務理事
	大槻 信夫	近畿労働金庫兵庫地区 統括本部本部長
	新保 雅子	コープこうべ理事
	伴 智代	コープこうべ理事
	大沼 和世	生活クラブ都市生活 副理事長
	井上 信行	兵庫県学校生協常勤理事
	小野田敏行	神戸市民生協専務理事
	酒井 行雄	兵庫県労働共済生協理事長
監事	藤田 雄三	姫路市民共済生協理事長
	金丸 正樹	ろっこう医療生協専務理事
	秦 正雄	コープこうべ常務理事



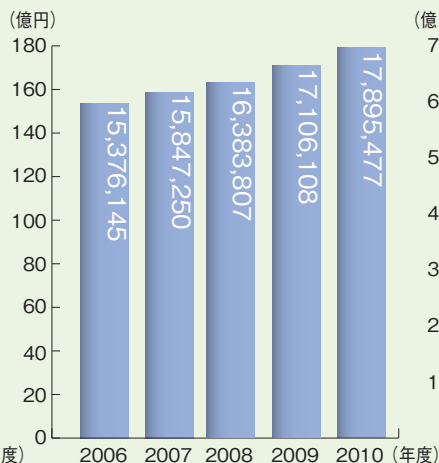
総事業高 2,693億円の期待

●県内生協の分野別による事業高の経年変化(千円)

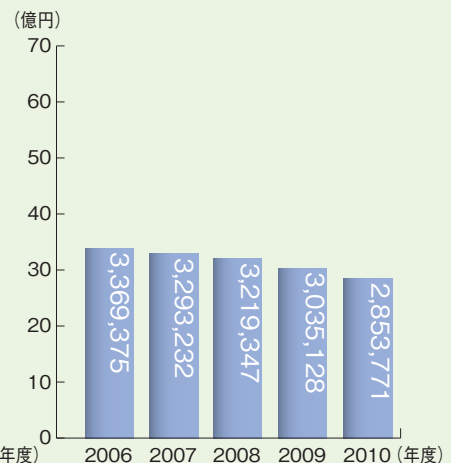
購買生協



医療



共済



※購買生協＝地域・職域・大学生協
 ※購買生協の数値は供給高

広がる協同の輪 —県内生協の分野別事業活動—

地域購買生協

地域購買生協は、一定の地域内に居住する消費者を対象にした生協で、食料品・日用品などの供給事業を中心に、共済事業、介護事業、文化事業など各種事業をおこなっています。県内には5つの地域購買生協が活動、組合員は145万人を超え、供給高は年間2,379億円におよび、426億円の出資金がこれを支えています。日々の暮らしの全般にわたって、思いを寄せ合い、力をあわせて、暮らしを豊かにしていくための活動の場、それが地域購買生協です。

職域購買・学校生協

同じ職場で働くことを結合の基礎としている生協で、店舗・カタログによる食料品・日用品の供給をおこなっています。県内には3つの職域生協があり、組合員数は7.5万人、出資金は約1.1億円、年間20億円の事業高をあげています。県下全域を巡回供給でネットする兵庫県学校生協をはじめ、市役所職員会館内の店舗を運営する西宮市職員生協、尼崎信用金庫本店内の店舗を運営する尼崎信用金庫職員生協など、その活動スタイルはバラエティに富んでいます。

大学生協・高専生協

大学・高専の学生と教職員で構成されている生協で、書籍、学用品、日用品等の供給、食堂の運営、学生向け共済事業などをおこなっています。

現在、県内には10の大学生協と1の高専生協があり、大学生協阪神事業連合を通じて互いに連携しながら実りある学生生活をバックアップしています。組合員は8万人を超え、事業高は86億円となっています。

医療生協

快適で張りのある毎日を送るために、病院・診療所を中心に人間本位の質の良い医療サービスを提供しながら、保健活動や介護保険事業など福祉介護サービス活動に取り組んでいます。県内には9つの医療生協があり、組合員は16万人、出資金は約48億円を超えています。

患者の“知る権利”や“自己決定権”をもりこんだ「患者の権利章典」に基づき、医療と医療従事者との、よりいっそうの信頼関係の創造をめざす取り組みとともに、安心して暮らせる地域社会づくりに向け、福祉・介護のネットワークづくりに力をいれています。

共済生協

共済生協は、家計にやさしい掛け金で、火災や事故、病気から「暮らしと生命を守る」ため、火災共済・総合医療共済・生命共済・交通傷害共済などの共済事業をおこなっています。県内には、5つの共済生協があり86万人を超える組合員の暮らしの安心をささえています。

その他の会員

ろうきんは、働く人たちによって運営される金融機関で、その基本姿勢や、社会的な役割、および暮らしに役立つプランやサービスも、すべてが働く人たちの視点に立ったものです。働く人が主体となる「生活・福祉金融機関」として、非営利で健全経営に徹しています。

また、全国農業協同組合連合会・兵庫県本部は、農家のみなさんが生産された農畜産物の販売や、農業生産に必要な資材の供給、農家のみなさんの生活に必要な商品の供給を行う経済事業（販売・購買）を兵庫県下JAとともにおこなっています。

コミュニティ・ネットワークの構築 協同が息づく兵庫のまちづくりをめざして

1950年に設立された兵庫県生活協同組合連合会は、設立当時、わずか9生協で出発した連合会でしたが、今日では、34の生協と労働金庫、JA全農兵庫の36会員の連合会組織に発展しています。

地域購買、職域購買、大学、医療、共済など

さまざまな分野で活動している会員生協の相互の連携、交流をはかりつつ、

行政をはじめ、地域の諸団体とも力を合わせて

「協同が息づく兵庫のまちづくり」をめざして取り組みをすすめています。

豊岡市

- たじま医療生協

姫路市

- 姫路医療生協
- 姫路市民共済生協

宝塚市

- 佐曾利生協
- 宝塚医療生協

西宮市

- 生活クラブ都市生活
- 西宮市職員生協
- 関西学院大学生協
- 大手前大学生協
- 西宮市民共済生協

尼崎市

- 尼崎信用金庫職員生協
- 園田学園女子大学生協
- 尼崎医療生協
- 阪神医療生協
- ひまわり医療生協
- 尼崎市民共済生協

神戸市

- コープこうべ
- コープ自然派兵庫
- コープ自然派事業連合
- 兵庫県学校生協
- 神戸大学生協
- 神戸市外国語大学生協
- 甲南大学生協
- 兵庫県立大学生協
- 神戸薬科大学生協
- 神戸親和女子大学生協
- 甲南女子大学生協
- 神戸市立工業高等専門学校生協
- 大学生協阪神事業連合〔神戸事務所〕
- 神戸医療生協

- 兵庫医療生協
- ろっこう医療生協
- 神戸市民生協
- 兵庫労働共済生協
- 近畿労働金庫兵庫地区統括本部
- 全国農業協同組合連合会兵庫県本部

(注・本部所在地)

関西学院大学生生活協同組合



所在地 ● 西宮市上ヶ原一番町1-155関西学院内
組合員数 ● 25,805人
供給高 ● 2,853,209千円
<http://www.kgcoop.jp>

関西学院大学では、2008年度から2010年度まで毎年新しい学部が開設され、組合員も増加しています。日々発展を続ける学院の中で、組合員の勉学研究・日常生活・キャリア形成をサポートし、貢献することを使命として、未来に繋がる着実な事業運営と、組合員の活発な活動の舞台となる生協を目指しています。

神戸市外国語大学消費生活協同組合



所在地 ● 神戸市西区学園東町9丁目1番地
組合員数 ● 2,730人
供給高 ● 270,201千円
<http://www.hanshin.coop/kcufs>

組合員の勉学・研究・生活をサポートするために食堂・書籍・購買・サービス・共済事業を行っています。2007年に大学が独立行政法人化し、今後ますます学内の福利厚生に貢献するためにも、より一層の損益状況改善と組合員サービスの向上が求められています。少ない職員数ではありますが、組合員が有意義なキャンパスライフを送れるよう、組合員に支持される事業内容を目指し、スタッフ一同頑張っています。

甲南大学生生活協同組合



所在地 ● 神戸市東灘区岡本9丁目6-4
組合員数 ● 10,499人
供給高 ● 1,113,427千円
<http://www.knu.jp>

今年の3月に購買部を前面改装し、組合員に身近に感じてほしいとの思いから店舗名もKoCo-Shop(愛称)に変更しました。また、併設していましたPCサポートコーナーの場所を移動し、相談しやすい環境となるようにKoCo-Supportとして独立をさせています。パート職員・アルバイト職員全員とも個別面談を行うことでコミュニケーションを図り、組合員にとってより良いサービスが実現できるように努めています。投資により経営的には厳しい状況ではありますが、今後とも皆さんのお知恵とご支援を頂きながら組合員の期待に応えていきたいと思っております。

兵庫県立大学生生活協同組合



所在地 ● 神戸市西区学園西町8丁目2-1
組合員数 ● 7,065人
供給高 ● 886,267千円
<http://www.uhcoop.jp>

兵庫県立大学6キャンパスに、ショップ、食堂店舗を設置し、附属中学・附属高等学校から大学まで、約7,100人の組合員に支えられた事業を展開しています。今春には、ポートアイランドの次世代スーパーコンピュータ「京」に隣接する「シミュレーション学研究科(修士課程)」が、姫路書写キャンパスには「ナノ・マイクロ構造科学センター」が開設されました。多様な組合員に対応した事業展開を行います。また各キャンパスでは、キャリアサポート事業を大学と連携して進めています。

神戸薬科大学生活協同組合



所在地 ● 神戸市東灘区本山北町4丁目19-1
組合員数 ● 1,624人
供給高 ● 190,840千円
<http://www.hanshin.coop/kpu>

薬学6年制となり、今年度で1年生から6年生まで揃いました。学内人口も最大となり、食堂や店舗利用の混雑緩和が課題となりました。生協に求められるスタイルも変化していく中で、組合員のニーズに合ったサービスの提供や、食育への取り組みはもちろん、フェアや企画、メールマガジンの強化などを行っています。また、新施設への移設計画も進行しています。これからも魅力あるキャンパスづくりに貢献できるようスタッフ一同努力して参ります。

神戸親和女子大学生生活協同組合



所在地 ● 神戸市北区鈴蘭台北町7丁目13-1
組合員数 ● 1,720人
供給高 ● 114,390千円
<http://www.hanshin.coop/shinwa>

食堂・喫茶・書籍・購買・サービス・共済事業を行っています。小規模生協ですので、運営が厳しいこともありますが、組合員の大学生活をサポートするために、職員一同頑張っているところです。大学も様々な変化があり、今年度は2008年度に新設されたジュニアスポーツ教育学科の初の卒業生が誕生します。その上で、生協として就職活動や教員採用試験対策などの提案を行っています。大学や学生組合員の変化に合わせて、いつでも「必要とされる生協」を目指していきたいと思っております。

大手前大学生生活協同組合



所在地 ● 西宮市御茶家所町6-42
組合員数 ● 3,181人
供給高 ● 140,074千円
<http://www.hanshin.coop/otemae>

西宮市にある「さくら夙川キャンパス」と伊丹市にある「いたみ稲野キャンパス」の2つのキャンパスで書籍購買店を運営しています。

文具や日用品、お弁当やお菓子などを幅広く取りそろえ、キャンパス内のコンビニエンスストアとして学生生活をしっかりサポートしています。

特に「組合員で良かった」と思っていただけのような様々な取り組みを定期的に行い、好評を得ています。

さらに組合員の要望に応えられる店作りにも努力していきます。

園田学園女子大学生生活協同組合



所在地 ● 尼崎市南塚口町7丁目29-1
組合員数 ● 2,418人
供給高 ● 206,375千円
<http://www.hanshin.coop/sonoda>

1995年に創立し16年を迎えました。創立当時と比較して大学・短大の学部再編、学科新設などにより大学自体が変化してまいります。

そのような中で、大学・短大だけでなく、中学校・高等学校の食堂運営の受託など学園全体をサポートしています。

2011年にはビジョンとアクションプランを制定しました。「あれば便利」なのはもちろん、学園・大学の活性化に貢献し、組合員と共に充実した学園・大学生活を創ることができる生協を目指します。

甲南女子大学生生活協同組合



所在地 ● 神戸市東灘区森北町6丁目2-23
組合員数 ● 4,205人
供給高 ● 216,662千円
<http://www.hanshin.coop/konan-wu>

大学に根付いた大学生協として、組合員の大学生活をサポートするために、食堂・書籍購買・サービス・共済事業を行っています。食堂部、書籍購買部の店舗では大学や学生団体と協力してオリジナルメニューやオリジナルグッズの考案・販売を行い、組合員に求められる店舗作りに取り組んでいます。2011年度にはIC組合員証が学生証と一体化となりました。

今後ますます大学との協力関係を強め、魅力ある甲南女子大学づくりに生協の立場から貢献していきます。

神戸市立工業高等専門学校生活協同組合



所在地 ● 神戸市西区学園東町8丁目3番地
組合員数 ● 1,310人
供給高 ● 96,212千円

兵庫県下唯一、全国でも珍しい高等専門学校生活協です。日常利用の購買店・食生活運営を柱に、新入学時の指定教材斡旋から卒業記念品まで、キャンパスにおける一連の福利厚生業務を学校に成り代わり担っております。若干15歳の学生から教職員まで組合員の要望は多種多様ですが、学校との連携と連帯の力を密にし、神戸高専の発展に貢献して参ります。

生活協同組合連合会 大学生協阪神事業連合(神戸事務所)



所在地 ● 神戸市中央区宮本通7丁目1-13
組合員数 ● (連合会)24会員(兵庫エリア)11会員
事業高 ● [兵庫エリア]157,141千円
<http://www.hanshin.coop>

私たち大学生協神戸事業連合は、本年9月に大阪事業連合と合併し、あらたに「阪神事業連合」となりました。名称やその区域が変わっても私たちの果たす役割は変わりません。昨年策定した中期計画に基づき、会員生活の「使命」と「ビジョン」の達成のために、大きく変わった「連帯の力」によって、今まで以上に大学生協としての強みを活かしながら、組合員から支持される組織づくりを目指して参ります。

神戸医療生活協同組合



所在地 ● 神戸市長田区腕塚町2丁目2-10
組合員数 ● 47,686人
事業高 ● 4,470,851千円
<http://www.kobe-iseikyoo.or.jp>

3つの輪(「健康の輪」「助け合いの輪」「世直しの輪」)の取り組みを、49支部と病院1、診療所4、歯科4、訪問看護ST4、デイサービス1の事業所を拠点に、すすめています。「元気で長生き」「いざという時の安心」そんな想いをかたちにかえる取り組みです。昨年、好評だった「50周年記念健診」は、出会いを大切にしたいという想いから「生協いちご健診」に名称を変更し引き続き実施しています。

尼崎医療生活協同組合



所在地 ● 尼崎市南武庫之荘11丁目12-1
組合員数 ● 48,216人
事業高 ● 6,606,467千円
<http://www.amagasaki.coop/>

「人とつながり、支えあう。安心して暮らし続けられるまちをみんなで作る」をメインテーマに、「いのちの平等」を事業と運動に貫く実践を展開。無料低額診療事業では開始2年で250人を超える人たちが適用に。格差と貧困の実態は深刻です。東日本大震災では医療介護支援隊を発生翌日に派遣。長期的支援を継続するために生活支援ボランティアを被災地へ。地域に根ざした医療生活協活動とともに、被災者に寄り添う支援を続けています。

阪神医療生活協同組合



所在地 ● 尼崎市西川2丁目34番5号
組合員数 ● 13,857人
事業高 ● 1,881,448千円
<http://www.hanshiniseikyoo.or.jp>

1969年発足。現在、医療・介護事業など28の事業所を運営。「医療・介護・福祉の事業と運動を通して、人と人との支えあいを大切に、組合員が生きがいをもち、安心して暮らせる地域社会をめざします」を理念として活動をつけています。今年には新たにリハビリテーションに特化した短時間型デイケア事業を本部のある「わかさ診療所」で開始しました。

兵庫医療生活協同組合



所在地 ● 神戸市兵庫区新開地6丁目1-12-201
組合員数 ● 2,696人
事業高 ● 112,388千円

「医療をはたらくもの手に」をスローガンとして、1972年に県下の労働組合、関係団体を中心に設立されて以来、主に職域の健康問題に取り組んできましたが、1990年の神戸診療所の移転以降は、新開地周辺地区に職住されるみなさんの健康づくりに寄与すべく、まちづくりNPOをはじめとする地域のみなさんの協力もえながら日々の活動を行っています。

宝塚医療生活協同組合



所在地 ● 宝塚市鹿場1丁目18-6
組合員数 ● 10,599人
事業高 ● 541,179千円
<http://www.takarazuka-mcoop.net>

2011年、広報紙「たから」は、11月発行で通算200号に、12月には高松診療所創立60周年を迎えます。また、2012年12月には、宝塚医療生活協創立40周年を迎えます。

昨年4月開始した「無料・低額診療事業」は、兵庫県や宝塚市のホームページ、宝塚市の「広報たからづか」でも紹介され、相談者も増えつつあります。昨年プロジェクトで論議し、「組合員の想いをかたちに」と計画的実現に向けて「中長期計画」を作り上げ、11年の総代会で決定し、具体的実現に向けて取り組みがはじまりつつあります。

姫路医療生活協同組合



所在地 ● 姫路市双葉町10
組合員数 ● 20,720人
事業高 ● 2,940,190千円
<http://www.himeji-mcoop.or.jp/>

姫路医療生活協には、医療3、介護28の事業所の合計31事業所があります。法人内の事業所はもちろん、地域の医療機関・介護事業所とも連携し、地域密着のサービスを展開しています。また、小学校区を単位とした支部は、2010年度で34支部となりました。地域では認知症サポーター養成講座や、介護予防体操などにとりくんでいます。事業活動、組合員活動ともに「地域包括ケアネットワーク」のシステムづくりをすすめています。

ろっこう医療生活協同組合



所在地 ● 神戸市灘区水道筋6丁目7-11
組合員数 ● 19,014人
事業高 ● 927,456千円
<http://www.rokko-mcoop.or.jp>

2011年度は、第5次5ヵ年計画「GOGOプラン」の三年目。2万人組合員の実現、東灘区へのろっこう医療生活協の拠点づくりや、「高齢者にやさしい診療所づくり」など、組合員・職員が力を合わせて実現していきます。東日本大震災被災地支援は、岩手県大船渡市への健康管理支援活動や、ストレスの多い生活を強いられている福島の子供たちを神戸に招く取り組みを行っています。

たじま医療生活協同組合



所在地 ● 豊岡市今森465-1
組合員数 ● 3,041人
事業高 ● 257,920千円
<http://www.interq.or.jp/white/roppou>

たじま医療生協は、発足時1000名の組合員から昨年3000名を超えました。今年は次の峰を目指す出発年として組織強化に取り組んでいます。3月11日に発生した東日本大震災に対して、6年半前に受けた台風被害支援への感謝の意を込めた多くの協力を得て様々な支援活動に取り組んできました。震災の経験からも、医療生協のつながりを強め、安心して住み続けられる地域を目指して、支部活動の活性化と事業の充実発展に向けて頑張ります。

ひまわり医療生活協同組合



所在地 ● 尼崎市西立花町2-14-8
組合員数 ● 892人
事業高 ● 157,578千円

ひまわり医療生協は、田島診療所(1995年設立)を母体とし、2000年4月に発足しました。「地域で生活と暮らし、健康をみんなで支えあう」を理念に、診療所と2つの訪問介護センターを運営しています。診療所は、在宅医療、認知症外来、AKA(関節運動学的アプローチ)ー博田法および新経絡治療を三本柱に、介護センターは、どんな困難なケースでも依頼があれば引き受け、「ひまわりに頼れば安心して任せられる」という信頼構築をめざして日々奮闘しています。

神戸市民生活協同組合



所在地 ● 神戸市中央区江戸町92番地 神戸市役所4号館7階
組合員数 ● 238,506人
事業高 ● 1,853,904千円
<http://www.kccs.or.jp>

当組合は、兵庫県域をエリアとして、火災や医療などの共済事業および受託事業を行っております。この10月より、火災共済の掛金の一部引き下げを実施します。また、シンプルでわかりやすく、必要な保障を選んで付帯できる医療共済の新コースを発売します。今後も「支えあい・助けあいの市民共済」を基本理念とし、市民・組合員の皆様の「安心・安全の暮らしの備え」として、身近で信頼される生協を目指してまいります。

尼崎市民共済生活協同組合



所在地 ● 尼崎市昭和通2丁目6-68 尼崎中小企業センター7階
組合員数 ● 70,486人
事業高 ● 460,033千円
<http://www.amagasaki-kyosai.jp/>

当組合は、火災・交通・生命の共済事業を実施しており、この9月から生命に終身共済を、更に10月には火災に借家人賠償責任保険の取扱いを加えます。組合員の相互扶助により地域の繋がりを育んでいく共済制度を推進し、より多くの方々に安心して組合を利用いただけるよう法令順守はもとよりリスク管理を徹底し、組合運営情報の積極的な開示を行ってまいります。

姫路市民共済生活協同組合



所在地 ● 姫路市安田4丁目1番地 姫路市役所北別館5階
組合員数 ● 71,415人
事業高 ● 209,007千円
<http://www.himeji-siminkyosai.or.jp>

当組合は、火災共済・交通共済・生命共済の各事業を実施しております。「相互扶助・助けあいの精神」を理念とし、組合員の安心した生活の確保の為に事業推進を行っています。また、今年度は創立55周年を迎え、さらに地域に密着した信頼される生協を目指し、引き続き「迅速で丁寧な説明・親切な対応」を目標に多くの方々へ加入していただけるよう事業を実施してまいります。

西宮市民共済生活協同組合



所在地 ● 西宮市本町5番33号
組合員数 ● 57,769人
事業高 ● 220,325千円
<http://www.shiminkyosai.jp>

当組合では、火災共済・交通傷害共済・終身共済・医療共済・生命共済の共済事業を中心に、組合員のくらしの安全を提供しております。又、共済事業に加え、子会社で各種保険を取扱うことにより、組合員のニーズに対応できるよう努めております。今後も、地域に根付いた生協として、法令順守に努め、組合員のくらしと安全に貢献できるよう、より良い保障サービスの提供に努めます。

兵庫労働共済生活協同組合



所在地 ● 神戸市中央区中町通4丁目1-1
組合員数 ● 428,400人
事業高 ● 110,501千円
<http://www.zenrosai.coop/hyogo>

当組合は、1960年に労働組合運動を源とする「自分たちの手で、真に有利な共済」の声に応じて創立され、1976年の全国統合(全労済設立)を経て、昨年50周年を迎えました。今後とも「みんなてたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」を理念とし、「ぐりんぼう」という愛称をもつ3拠点(神戸・尼崎・姫路)を中心に、組合員の生活保障設計をサポートし、多様化するニーズにきめ細やかに対応できるように努めてまいります。

近畿労働金庫 兵庫地区統括本部



所在地 ● 神戸市中央区橋通4丁目2-10
組合員数 ● (近畿)1,510,712人
事業高 ● (融資高)1,233,660,315千円
<http://www.rokin.or.jp>

ろうきんは労働金庫法に基づいた協同組織の金融機関です。労働組合や生活協同組合など働く人の団体を主な会員として、会員に所属する組合員の方はもちろんのこと、職場に組合がなくても勤労者の方であれば、どなたでも直接ご利用いただくことができます。これからも福祉金融機関として生活応援の立場から様々な金融サービスを提供してまいります。

全国農業協同組合連合会 兵庫県本部



所在地 ● 神戸市中央区海岸通1番地
組合員数 ● (県本部)409,255人
事業高 ● (県本部)79,873,398千円
<http://www.zennoh-hyogo.com>

JA全農兵庫は、「もっと近くに」を合言葉に「生産者の営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組む」「安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けする」「地球の環境保全に積極的に取り組む」ということを経営理念として事業展開をおこなっています。22～24年度の3カ年計画においては、会員、取引先から期待の大きい「国産農畜産物の販売力強化」を最重要課題として取り組んでいます。また直営レストラン「神戸プレジール」においても、兵庫県産農畜産物をアピールしてまいります。

会員生協一覽

種別	生協名	代表者氏名	住所	郵便番号	電話番号
地域購買	生活協同組合コープこうべ	櫻井 啓吉	神戸市東灘区住吉本町1丁目3-19	658-8555	078-856-1003
	佐曾利消費生活協同組合	福本 昭夫	宝塚市上佐曾利字大垣内16-1	669-1202	0797-91-0003
	生活クラブ生活協同組合都市生活	山田多美子	西宮市山口町上山口上芦原78-2	651-1421	078-904-3260
	生活協同組合コープ自然派兵庫	林 かおる	神戸市西区見津が丘3丁目8番5号	651-2228	078-998-1674
	生活協同組合連合会 コープ自然派事業連合 ^(注)	小泉 佳久	神戸市西区見津が丘3丁目8番5号	651-2228	078-998-0850
職域購買	西宮市職員生活協同組合	井田 佳樹	西宮市六湛寺町10-21	662-0918	0798-35-3037
	兵庫県学校生活協同組合	泉 雄一郎	神戸市中央区北長狭通4丁目7-34	650-0012	078-331-9305
	尼崎信用金庫職員生活協同組合	東 博	尼崎市開明町3丁目30番	660-0862	06-6412-5470
大 学	神戸大学生生活協同組合	湯浅 英男	神戸市灘区六甲台町	657-0013	078-871-3691
	関西学院大学生生活協同組合	富田 宏治	西宮市上ヶ原一番町1-155関西学院内	662-0891	0798-53-7001
	神戸市外国語大学消費生活協同組合	岡本 崇男	神戸市西区学園東町9丁目1番地	651-2187	078-794-8191
	甲南大学生生活協同組合	安西 敏三	神戸市東灘区岡本9丁目6-4	658-0072	078-451-1371
	兵庫県立大学生生活協同組合	池田 潔	神戸市西区学園西町8丁目2-1	651-2197	078-795-0939
	神戸薬科大学生活協同組合	畑 公也	神戸市東灘区本山北町4丁目19-1	658-8558	078-441-7521
	神戸親和女子大学生生活協同組合	毛利 豪志	神戸市北区鈴蘭台北町7丁目13-1	651-1111	078-595-0303
	大手前大学生生活協同組合	山田 信義	西宮市御茶家所町6-42	662-0961	0798-33-4900
	園田学園女子大学生生活協同組合	垣東 弘一	尼崎市南塚口町7丁目29-1	661-8520	06-6422-5794
	甲南女子大学生生活協同組合	原田 隆司	神戸市東灘区森北町6丁目2-23	658-0001	078-435-5270
	神戸市立工業高等専門学校生活協同組合	大淵 真一	神戸市西区学園東町8丁目3番地	651-2102	078-795-4051
	生活協同組合連合会 大学生協阪神事業連合〔神戸事務所〕 ^(注)	堀田 和宏	神戸市中央区宮本通7丁目1-13	651-0063	078-262-5600
	医 療	神戸医療生活協同組合	道上 哲也	神戸市長田区腕塚町2丁目2-10	653-0036
尼崎医療生活協同組合		船越 正信	尼崎市南武庫之荘1丁目12-1	661-0033	06-6436-9500
阪神医療生活協同組合		中村 大蔵	尼崎市西川2丁目34番5号	661-0966	06-6494-8394
兵庫医療生活協同組合		竹本 貞雄	神戸市兵庫区新開地6丁目1-12-201	652-0811	078-577-1031
宝塚医療生活協同組合		茅野 涼一	宝塚市鹿塩1丁目18-6	665-0054	0798-57-3137
姫路医療生活協同組合		荻野 俊夫	姫路市双葉町10	670-0832	079-285-3398
ろっこう医療生活協同組合		村上 正治	神戸市灘区水道筋6丁目7-11	657-0831	078-802-3424
たじま医療生活協同組合		前田 貞夫	豊岡市今森465-1	668-0851	0796-24-7007
ひまわり医療生活協同組合		三木岸 一郎	尼崎市西立花町2-14-8	660-0054	06-6411-0600
共 済	神戸市民生活協同組合	矢田 立郎	神戸市中央区江戸町92番地 神戸市役所4号館7階	650-0033	078-391-4555
	尼崎市民共済生活協同組合	稲村 和美	尼崎市昭通通2丁目6-68 尼崎市民中小企業センター7階	660-0881	06-6481-0005
	姫路市民共済生活協同組合	藤田 雄三	姫路市安田4丁目1番地 姫路市役所北別館5階	670-0955	079-222-8877
	西宮市民共済生活協同組合	河野 昌弘	西宮市本町5番33号	662-0914	0798-23-5566
	兵庫労働共済生活協同組合(全労済)	酒井 行雄	神戸市中央区中町通4丁目1-1	650-0027	078-371-6502
生協以外の の会員	近畿労働金庫兵庫地区統括本部	大槻 信夫	神戸市中央区橘通4丁目2-10	650-0016	078-371-1201
	全国農業協同組合連合会兵庫県本部	西畑 義明	神戸市中央区海岸通1番地	650-8666	078-333-6000
連 合 会	兵庫県生活協同組合連合	本田 英一	神戸市中央区下山手4丁目16-3 県民会館4階	650-0011	078-391-8634

※注) コープ自然派事業連合・大学生協阪神事業連合は計値に含まない ※地域・職員・大学生協は供給高を表記

(2011年9月末現在、数値は会員生協2010年度決算数値)

FAX番号	設立登記年月日	組合員数(人)	出資金高(千円)	事業高(千円)	供給	共済	医療
078-856-1227	1921.04.12	1,421,545	41,415,037	233,276,449	●	●	
0797-91-1169	1961.03.17	72	2,140	9,170	●		
078-904-3382	1986.12.01	14,158	944,364	2,773,351	●	●	
078-998-1672	2002.12.04	14,283	332,643	1,928,761	●	●	
078-998-0851	2002.12.26	※(連合会)10会員	622,800	7,914,573	●	●	
0798-35-3094	1969.01.04	3,953	6,283	137,842	●	●	
078-331-9959	1972.07.24	68,417	104,056	1,787,199	●	●	
06-6412-9022	1977.11.24	2,745	2,745	75,238	●		
078-882-5740	1957.12.21	19,885	370,461	2,574,961	●	●	
0798-53-5755	1959.12.22	25,805	380,227	2,853,209	●	●	
078-797-2464	1966.09.20	2,730	47,187	270,201	●	●	
078-451-8647	1970.07.10	10,499	282,841	1,113,427	●	●	
078-795-0998	2007.09.01	7,065	169,582	886,267	●	●	
078-453-3568	1992.12.21	1,624	47,795	190,840	●	●	
078-595-0565	1992.12.22	1,720	33,505	114,390	●	●	
0798-33-4140	1994.06.23	3,181	63,605	140,074	●	●	
06-6422-5889	1995.09.04	2,418	35,330	206,375	●	●	
078-435-5271	1996.08.08	4,205	83,990	216,662	●	●	
078-795-4052	2007.12.21	1,310	13,590	96,212	●	●	
078-252-7782	1985.08.31	※(連合会)24会員 (兵庫エリア)11会員	(兵庫エリア) 43,600	(兵庫エリア) 157,141	●	●	
078-641-1654	1963.06.04	47,686	1,652,863	4,470,851			●
06-6436-9511	1969.09.13	48,216	1,802,575	6,606,467			●
06-6494-8395	1970.02.25	13,857	184,526	1,881,448			●
078-577-5784	1972.07.08	2,696	61,580	112,388			●
0798-57-5667	1972.12.06	10,599	202,632	541,179			●
079-284-2647	1974.08.01	20,720	351,901	2,940,190			●
078-802-1649	1981.04.08	19,014	484,532	927,456			●
0796-24-7010	1995.09.13	3,041	62,200	257,920			●
06-6411-0160	2000.04.03	892	52,178	157,578			●
078-391-3471	1955.03.18	238,506	644,389	1,853,904		●	
06-6482-2409	1955.12.27	70,486	476,810	460,033		●	
079-222-8820	1956.08.20	71,415	298,950	209,007		●	
0798-35-0041	1960.07.25	57,769	704,636	220,325		●	
078-366-2207	1960.11.04	428,400	3,046,359	110,501		●	
078-371-2273	1950.12.15	(近畿)1,510,712	(近畿)15,993,247	(融資高)1,233,660,315			
078-333-6041	1951.03.22	(県本部)409,255	(全国)115,281,300	(県本部)79,873,398			
078-392-2059	1950.12.15	(連合会)36 (2011年9月末)	8,870 (2011年9月末)	指導連絡調整			

※数値は会員生協2010年度決算数値

協同組合のアイデンティティに関するICA 声明

協同組合原則

世界で初めて近代的な意味での生協をつくった、ロッヂデールの人々の、貧しいけれども情熱的な事業と運動の中から「ロッヂデール原則」と呼ばれる生協の運営規則が芽生えました。その後、この原則は、各国の協同組合運動の中に取り入れられるとともに整理され、6つの協同組合原則としてまとめられるようになりました。そして、95年9月、イギリスのマンチェスターで開催されたICA(国際協同組合同盟)100周年記念大会では、「コミュニティーへの関心」を加えた新しい7つの協同組合原則が採択されました。この協同組合原則は、どんな社会・経済制度のもとでも、すべての協同組合が守っていくとされる普遍的な原則です。

定義

協同組合は、共同で所有し民主的に管理する事業体を通じ、共通の経済的・社会的・文化的ニーズと願いを満たすために自発的に手を結んだ人々の自治的な組織である。

価値

協同組合は、自助、自己責任、民主主義、平等、公正、そして連帯の価値を基礎とする。それぞれの創立者の伝統を受け継ぎ、協同組合の組合員は、正直、公開、社会的責任、そして他人への配慮という倫理的価値を信条とする。

協同組合原則は、協同組合がその価値を実践に移すための指針である。

(第1原則) 自発的で開かれた組合員制

協同組合は、自発的な組織である。協同組合は、性別による、あるいは社会的・人種的・政治的・宗教的な差別を行わない。協同組合は、そのサービスを利用することができ、組合員としての責任を受け入れる意志のある全ての人々に対して開かれている。

(第2原則) 組合員による民主的管理

協同組合は、その組合員により管理される民主的な組織である。組合員はその政策決定、意志決定に積極的に参加する。選出された代表として活動する男女は、組合員に責任を負う。単位協同組合では、組合員は(一人一票という)平等の議決権をもっている。他の段階の協同組合も、民主的方法によって組織される。

(第3原則) 組合員の経済的参加

組合員は、協同組合の資本に公平に拠出し、それを民主的に管理する。その資本の少なくとも一部は通常協同組合の共同の財産とする。組合員は、組合員として払い込んだ出資金に対して、配当がある場合でも通常制限された率で受け取る。

組合員は、剰余金を次の目的の何れか、または全てのために配分する。

- 準備金を積み立てることにより、協同組合の発展のためその準備金の少なくとも一部は分割不可能なものとする
- 協同組合の利用高に応じた組合員への還元のため
- 組合員の承認により他の活動を支援するため

(第4原則) 自治と自立

協同組合は、組合員が管理する自治的な自助組織である。協同組合は、政府を含む他の組織と取り決め行なったり、外部から資本を調達する際には、組合員による民主的管理を保証し、協同組合の自主性を保持する条件において行なう。

(第5原則) 教育、訓練および広報

協同組合は、組合員、選出された代表、マネジャー、職員がその発展に効果的に貢献できるように、教育訓練を実施する。協同組合は、一般の人々、特に若い人々やオピニオンリーダーに、協同組合運動の特質と利点について知らせる。

(第6原則) 協同組合間協同

協同組合は、ローカル、ナショナル、リージョナル、インターナショナルな組織を通じて協同することにより、組合員に最も効果的にサービスを提供し、協同組合運動を強化する。

(第7原則) コミュニティへの関心

協同組合は、組合員によって承認された政策を通じてコミュニティの持続可能な発展のために活動する。



一人は万人のために
万人は一人のために

一人は万人のために 万人は一人のために
誰もが安心して暮らせる社会をきずくこと。
それが、生協運動の理想です。
助けあいのこころ。
それが、みんなで力をあわせてつくった生協の精神です。



2012
国際協同組合年

2012年は国際協同組合年です

ひょうごの生協

2011

兵庫県生活協同組合連合会

2011年10月12日発行
兵庫県生活協同組合連合会
〒650-0011神戸市中央区下山手通4丁目16-3兵庫県民会館4階
TEL(078)391-8634 FAX(078)392-2059
ホームページアドレス www.co-op-hyogo-union.or.jp

